

学校図書館の利活用を  
促進するには  
～富山県立A高等学校を例に～

はじめに

学校図書館の利活用を進めていく必要性を明らかにし、

富山県立新川みどり野高校を対象として利活用を促進するための方法を提案する

ことを目的とする。

私は、図書館司書・学校司書に関する学びを深める中で、母校の学校図書館の利活用について関心を持つようになりました。長期休暇中に母校の恩師を訪ねた際、学校図書館の活用状況などについて話題が及び、母校の学校図書館を対象とした研究を行うことで、母校の学校図書館利活用の促進に貢献できるのではないかと考えました。

振り返ると、私が高校在学中の学校図書館の印象は限られた生徒しか利用しておらず、必ずしも活発に利用されている様子ではありませんでした。また、勉強をしたり、本を借りたり、放課後に友達と話したりする場所という印象が強くありました。しかし、大学で図書館・学校図書館について学ぶにつれ、学校図書館は学校において重要な役割があり、利活用を進めていく必要があると考えるようになりました。

そこで私は、学校図書館の利活用を進めていく必要性を明らかにし、母校の高校を対象として利活用を促進するための方法を提案することを目的として研究を行うことにしました。

## 研究の方法

- ①学校図書館について文献調査
- ②実践事例について収集・分析
- ③母校の学校図書館の訪問調査
- ④調査結果を元に、母校で実践可能な利活用促進方法を考察、提案

まずは、研究対象である学校図書館の目的と機能、必要性について文献調査を行います。そして、利活用促進のための実践事例について収集、分析し、どのような利活用促進方法があるのかを整理します。さらに、それを母校の学校図書館に応用するために、母校の現状把握のための訪問調査を行います。最終的には、調査結果を総合して、母校で実践可能な利活用の促進方法等について考察、提案を行います。

## 学校図書館の目的と機能

- ・ 学校図書館法
- ・ 学校図書館憲章
- ・ ユネスコ学校図書館宣言
- ・ 学校図書館ガイドライン

学校図書館の目的と機能を知るために、「学校図書館法」「学校図書館憲章」「ユネスコ学校図書館宣言」「学校図書館ガイドライン」を確認しました。

## 学校図書館の目的と機能

「情報センター」  
「学習センター」 + 「教材センター」  
「読書センター」

4つの文献を確認した結果、学校図書館には、児童・生徒の利用を目的とした「情報センター」「学習センター」「読書センター」の機能と、教員の利用を目的とした「教材センター」の機能があり、学校教育のために重要な場所であることが分かりました。

## 学校図書館の必要性

- ・ これからの学校図書館の活用の在り方等について(報告) 2009年
- ・ 高等学校学習指導要領  
(2009年改訂、2018年改訂)

学校図書館の必要性についてまとめるために、「これからの学校図書館の活用の在り方等について(報告)」と2009年改訂と2018年改訂の「高等学校学習指導要領」を確認しました。

## これからの学校図書館の活用の 在り方等について(報告) 2009年

「情報センター」  
「学習センター」  
「読書センター」  
「教材センター」  
+ 「心の居場所」

「これからの学校図書館の活用の在り方等について(報告)」では、前述した「情報センター」「学習センター」「読書センター」「教材センター」のセンター機能に加え、新たに「心の居場所」としての機能について書かれており、児童・生徒の学校生活や学校教育全般において必要性が高い場所であることを確認することができました。

# 高等学校学習指導要領

2009年改訂

国語、芸術、音楽、美術  
総合的な学習の時間、特別活動



2018年改訂

歴史地理、公民

高等学校学習指導要領の、2009年改訂版では国語・芸術・音楽・美術・総合的な学習の時間・特別活動の6科目、2018年改訂版では6科目に加えて歴史地理・公民の8科目で学校図書館の活用に関する記述があり、多様な科目での活用が期待されるようになってきたことが分かりました。



## 訪問調査

- ・ 富山県立A高等学校
- ・ 令和3年8月12日
- ・ 図書館担当教諭
- ・ 観察調査、インタビュー調査

訪問調査は、母校である富山県立A高等学校を対象とし、令和3年8月12日に行いました。  
図書館の観察と、図書館担当の先生へのインタビューを行いました。



図書館に向かう通路にかわいらしい装飾のされた掲示が並んでいました。



掲示物は、図書委員会に関する内容のものや新着図書の案内についてのものがにぎやかに貼られています。



図書館入口の扉に、書籍についてくる帯を使用して作られた掲示物もありました。こういった掲示物は学外の司書の方が制作されているそうです。



生徒の興味をひくための工夫として、新着図書が机に平置きで展示されていました。



企画展示も行われています。芥川賞・直木賞受賞の作品の企画展示と富山県に関する資料を紹介している企画展示がありました。



新型コロナウイルス感染症の影響で、机に簡易のパーティションが設置されていました。  
意外に自分だけの空間で読書等ができる则好評らしいです。学校図書館の机は全て6人掛けのものなので、1人で楽しみたい生徒にはパーティションはとてもいいと思いました。感染症対策という面だけでなく、これからも1人になれる空間を提供できるように続けていければ良いと思います。



書架の側面に大きく分類記号が張り出されていました。それぞれの分類の書籍が置かれている書架が分かりやすいです。





新着図書コーナーにも分類表示



右の写真では、新着図書が置かれている書架にもNDCの分類表示が貼られており、分かりやすくなっていました。  
左の写真は、雑誌架です。

## インタビュー結果

- ・ 選書
- ・ コレクションのバランス
- ・ 漫画やライトノベルの取り扱い
- ・ 生徒に興味を持ってもらえるプログラム

インタビューでは、選書やコレクションのバランス、漫画やライトノベルの取り扱い方、生徒に興味を持ってもらえるプログラムについて、課題があることが分かりました。

## 実践事例の収集

- ・ 全国学校図書館協議会の機関紙  
「学校図書館」の事例紹介コーナー  
「いきいき学校図書館」 2021年1月～10月

学校図書館の利活用促進の方法を探るため、全国学校図書館協議会の機関紙「学校図書館」に掲載された「いきいき学校図書館」の実践事例を調べました。全国のさまざまな学校図書館の紹介をコンパクトに確認することができ、複数の事例を分析することで、学校図書館の利活用に何が必要なのかを発見できるのではないかと考えました。

番号	学校名	掲載巻号	掲載年月次	掲載頁
1	山梨県立身延高等学校	第843号	2021年1月	12頁
2	広島県広島国際学院中学校・高等学校	第843号	2021年1月	13頁
3	長野県小諸高等学校	第844号	2021年2月	11頁
4	名古屋市・名古屋中学校・高等学校	第845号	2021年3月	11頁
5	岐阜県立関高等学校	第846号	2021年4月	11頁
6	秋田県立十和田高等学校	第847号	2021年5月	10頁
7	岡山県・岡山理科大学附属高等学校	第847号	2021年5月	11頁
8	三重県立鳥羽高等学校	第848号	2021年6月	11頁
9	鹿児島県立串木野高等学校	第849号	2021年7月	11頁
10	愛媛県立南宇和高等学校	第850号	2021年8月	11頁
11	奈良県立奈良北高等学校	第852号	2021年10月	14頁
12	鳥取県立琴の浦高等特別支援学校	第852号	2021年10月	15頁

2021年1月(通巻第843号)から10月(通巻第852号)までに公表された記事から、高等学校を対象とした12事例を抽出しました。

<b>1.図書委員会の活動</b> <b>1.1 校内での活動</b> (1)イベント関係 (2)企画展示関係 (3)図書館業務関係 (4)広報活動関係 (5)部活動との連携 <b>1.2 校外での活動</b> (1)イベント関係 (2)公共図書館・地域との連携 (3)交流関係 (4)教育関係	<b>2.読書推進活動</b> <b>2.1 校内での活動</b> (1)イベント関係 (2)教育関係 (3)企画展示関係 (4)広報活動関係 (5)図書館環境整備 (6)文庫整備 (7)朝読書 (8)その他の活動 <b>2.2 校外での活動</b> (1)公共図書館・地域との連携
--	--

抽出した事例を図のようにカテゴリー分けしました。様々な実践事例が見られましたが、図書委員会といった限定された生徒だけでなく、学校に在籍している全生徒を巻き込むことが、学校図書館の利活用促進には必要なのではないかと考えました。

## おわりに：今後の課題

- ・ 実践事例のさらなる分析
- ・ 母校で実践可能な利活用促進方法等の考察、提案

現在、学校図書館の目的と機能、必要性についての文献調査、実践事例の収集と一部の分析、母校の学校図書館の訪問調査については終了しています。  
今後は、さらに実践事例の分析を行い、これまでの調査結果を元にして、母校で実践が可能な利活用促進方法等についての考察、提案を行います。